



YU-INFORMATION  
2013 JANUARY No.111  
山口大学広報誌

## 就職活動を振り返って

就職支援室の利用案内

就職活動をサポートするイベント

卒業生の就職状況

内定者インタビュー

親しみやすいキャラクターで大学を PR

山口大学キャラクター「ヤマミイ」誕生!





YU-INFORMATION  
2013 JANUARY No.111



## 「志」つなぎ 伝える 二百年

山口大学は、長州藩士・上田鳳陽によって1815年に創設された私塾山口講堂を起源とし、明治・大正期の学制を経て、1949年に、地域における高等教育および学問研究の中核となる新制大学として創設されました。来る2015年には、山口講堂創設から創立200周年を迎えます。

山口大学は、地域に根差した大学として、さらなる充実と飛躍を期し、次なる100年をより有意義なものにするための記念事業を計画しています。



<http://www.yamaguchi200.jp/>

【テーマ】

# 就職活動を振り返って

全国的に大学生の就職状況は依然として厳しい状態が続いています。  
就職活動を行った学生は、  
その厳しい状況を肌で感じたのではないかでしょうか。  
山口大学では、学生が満足感や充実感を持って  
卒業・就職していくことを目指して、  
キャリア教育と連動した  
就職活動に関する多彩な支援で  
学生をサポートしています。  
そこでYU-INFORMATION1月号では、  
就職活動を終えた学生へのインタビューを通して  
山口大学の就職支援の取り組みを  
ご紹介します。

## CONTENTS

■特集 1 就職活動を振り返って	01
就職支援室の利用案内	
就職活動をサポートするイベント	
卒業生の就職状況	
内定者インタビュー	
■特集 2 親しみやすいキャラクターで大学をPR 山口大学キャラクター「ヤマミイ」誕生!	06
■連載企画 考える就職活動	08
[平成24年度 第5回] 流通を仕事にするということ	
■年間企画 NEWS & TOPICS	09
こちらYU-PRSS!	
YU INFORMATION	
ワイユーインフォメーション	
山口大学広報課 第111号	
山口大学総務部広報課	
〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1	
Tel. 083-933-5007 FAX 083-933-5013	
E-mail: <a href="mailto:it011@yamaguchi-u.ac.jp">it011@yamaguchi-u.ac.jp</a>	
URL: <a href="http://www.yamaguchi-u.ac.jp/">http://www.yamaguchi-u.ac.jp/</a>	
編集・発行・編集・撮影・デザイン／マルニ	
印刷／マルニ	



### 学生の就職活動をサポートする就職支援室

就職支援室は、山口大学の学生の就職活動を支援することを目的に、就職に関する各種情報提供、就職講演会・説明会、学内業界・企業研究会の企画と実施、就職相談などを行っています。

場所／吉田キャンパス共通  
教育棟1階正面玄関を入って左

開室時間／8:30～18:00(月曜～金曜)※長期休業期間中  
は8:30～17:15

### 就職支援室の利用案内

#### ①配布資料の設置

就職支援室へ送られてくる学生への配布資料を、書架・雑誌架・ワゴン及び貸出図書コーナーの上に設置しています。公務員採用試験の

パンフレット・申込書もあります。

#### ②就職関連図書の貸し出し

就職活動に役立つ書籍やビデオを多数設置しています。面接対策、エントリーシート対策、業界研究のほか、「働く」を研究する書籍や社会人基礎力を強化する書籍も用意しています。

#### ③パソコンの利用

日経四紙の記事を検索できるシステムを導入したパソコン2台を設置しており、情報収集に活用できます。必要があればプリントアウトも可能です。

#### ④求人情報、OB・OG情報の提供

企業の求人票や企業案内パンフレットをファイリングして公開しています。また、企業等からいただいた在籍者名簿(OB・OG名簿)を閲覧することができます。

#### ⑤就職相談の対応

就職支援室の教職員が就職に関する様々な相談に応じます。月曜～

金曜の10時～17時には就職アドバイザーを配置しています。火曜は、山口県若者就職支援センターのキャリアカウンセラーが、金曜は、新卒応援ハローワークのジョブサポートーが就職相談を実施。

### 山口大学が力を入れる就職支援とキャリア教育

山口大学では、就職支援・キャリア教育に力を入れています。全学的な支援活動の展開、専任教員による授業を通じたキャリア形成への積極的な取り組み、一人ひとりの学生を支援するための個別相談を大切にしています。学生が就職活動をリアルに、前向きに捉えるための様々な取り組みを実施しています。

## 就職活動をサポートするイベント

山口大学では、就職活動をサポートする様々なイベントが実施されています。キャリア教育を意識したものや、先輩との交流を図るものなど、多彩な内容で学生の就職活動を応援しています。

### 学内業界・企業研究会 (11月～2月)

キャリア教育の一環として、学生が会社や業界の動向・仕事についてより深く、よりリアルに理解することを目的として、企業の経営者・人事担当者・企業で活躍する卒業生をキャンパスにお招きして開催する研究会です。教室で企業担当者の話を聴講する「教室セミナー方式」と複数の企業のブースをまわって話を聞く「食堂ブース方式」があります。幅広く業界・企業を研究することで、就職活動やキャリア形成に役立てることを目的としています。

※スケジュールは、就職支援室での配布物やウェブサイトで告知しています。



教室セミナー方式



食堂ブース方式

### ジョブスタディ (11月頃、年1回)

数社の大手企業の人事担当者をお招きする異業種合同セミナー。参加企業と学生によるディスカッションを通して、働くことの意味を身近に感じてもらうことを目的としています。



### 学内OB・OG訪問

全国で活躍している卒業生をお招きして、先輩を囲みながらざっくばらんに仕事の話や就職活動の話を聞く懇談会です。遠方に出て向かなくても、キャンパス内でOB・OG訪問ができるチャンスです。



### 就職講演会・就職説明会 (11月～1月)

就職講演会では、毎年著名な方をお招きして就職に関する講演を行っています。平成24年度は、著書『劇的内定術』で有名な坂本直文先生によるエントリーシート対策に関する講演会を開催し、大好評でした。

また、就職説明会では、国家公務員採用試験や教員採用試験に関するものや、就職ナビの活用法、面接対策などの説明会を開催しています。



### 就職支援のためのイベント

就職支援室では、面接練習会、グループディスカッション練習会、ビジネスマナー講座、コミュニケーション講座など、就職支援のための多彩なイベントを随時開催しています。



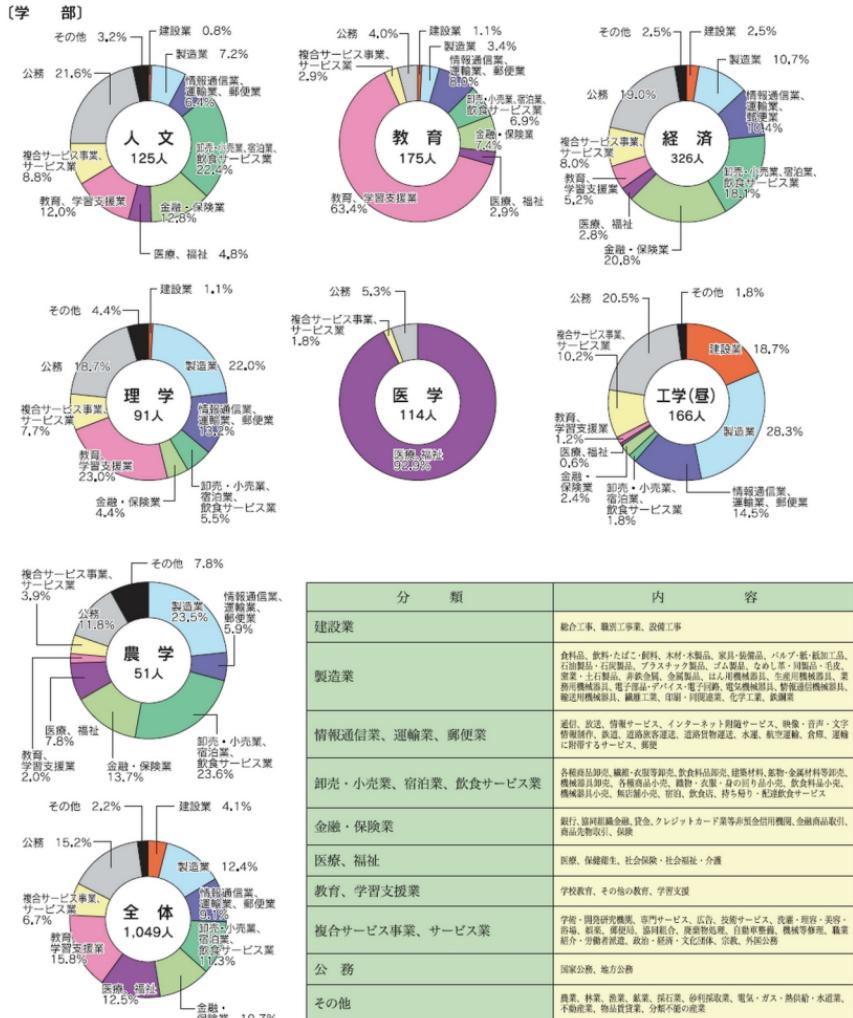
## ■一般的な就職活動の流れ



※補足 ① 学内OB・OG訪問は、時期を問わず随時実施します。  
② 内々定は4/1以降です。

## 卒業生の就職状況(平成 23 年度実績)

山口大学の学生は、様々な業種へ幅広く就職しています。就職してからすぐに社会の役に立てる人材となるように、社会人基礎力やビジネスマインドを養うキャリア教育に特に力を入れています。



## 内定者インタビュー

内定をもらった学生は、どのように就職活動を進め、学内の就職支援をどのように活用したのでしょうか。4人の内定者に就職活動を振り返っていただきました。就職活動中の学生だけでなく、まだ就職は先だと思っている学生もぜひ参考にして下さい。

### 業種は決めず、広い視野で企業選定

出身が松江市なので、地元に近い山陰地方と広島を中心に行きたいと就職活動をしていました。3年生の12月から福岡や広島、島根の合同説明会に参加して、業種は特に決めずに様々な企業に話を聞きました。2~3月はエントリーシートの提出がピークで、並行して個別説明会や選考に参加していました。4~5月は、面接が集中した時期で大変でしたが、5月末には内定通知をもらうことができました。

就職支援室には、よく通いました。エントリーシートを見てもらったり、面接練習会に参加したりしました。面接練習会では、場に慣れることができたのが良かったですね。エントリーシートを見てもらったのは、分かりやすく伝える書き方を考えるきっかけになりました。

学内で開催するイベントにはできる限り参加しようと思っていたので、学内業界・企業研究会にも時間がある時は参加していました。企業の方の話を聞くことで、働くことに対する意識や、自分が知らなかった仕事を知ることができました。なかなか聞けないような企業の話も聞くことができたので良かったですね。

#### 就職活動中の学生へメッセージ

合同説明会には、たくさんの会社が参加していますが、自分がどの会社に興味があるか、始めは分からぬと思います。だから、最初から絞らずに様々な業種の会社に話を聞いた方がいいと思います。そのうち、興味があるかないかが分かったり、自分の好みも分かたりします。偏らずに活動してみて下さい。



鹿島 波子

Kashima Namiko

人文学部言語文化学科4年  
内定先／株式会社山陰中央新報社

### 過去問題を徹底的に解いて傾向を把握

教員採用試験に向けての本格的な準備は、3年生の春に説明会に参加したのが最初です。本気で勉強し始めたのは、3年生の11月からでした。試験のスケジュールは、4年生の7月に一次試験、8月に二次試験、10月に結果発表という流れでした。

私は、教員採用試験の過去問題を繰り返し解いて勉強しました。自分が受験する地域だけでなく、全国の過去問題に取り組みました。解いていくうちに力がつくだけでなく、地域毎の傾向も分かるようになり、勉強しやすくなりました。実技は、夏休み前からマット、水泳、なわとびの練習をしていました。

ただ、筆記試験の勉強の中では、法律の部分が大変でした。普段あまり関わらないことと難しい言葉を暗記しないといけないことなどがあり、とても

苦労しました。

学内で開催されるイベントに教員採用試験のガイダンスがあるのですが、3年生と4年生の時に二回参加しました。試験の概要説明だけでなく、現職の先生からどんな勉強をしたか、現場ではどんな仕事をしているのか、といった話を聞くことができました。教育実習で現場には行くのですが、実際の現場で働く姿をイメージできたのが良かったですね。

#### 就職活動中の学生へメッセージ

勉強するのです。しっかりと勉強すれば合格できます。また、勉強以外では、ボランティアや実習などで、学生のうちからどんどん現場に出て下さい。その経験が直接でも生きてくるし、知識にもなるので良いと思います。



三宅 啓昌

Miyake Hiroaki

教育学部学校教育教員養成課程4年  
内定先／小学校教員(岡山県)

## 早い時期から就職活動を意識して準備

就職活動は、2年生の3月頃から意識し始め、就職支援室に通ってエントリーシートの書き方の本や新聞を読み始めました。3年生の12月以降はすぐエントリーシートに取り組んだのですが、その事前準備は10月から始めていました。私は、3月後半が面接や選考のピークで、4月に内定をもらうことができました。

就職支援室には、セミナーや面接練習会への参加、内定についての相談など、頻繁に足を運びました。学科を超えて就職活動に熱心な学生が集まるので、モチベーションが上がったのが良かったですね。

学内業界・企業研究会では、アルバイトを休むくらい毎日参加して、数え切れない程の企業から話を聞きまし  
た。知らない企業でも、もし自分が入社

したらどう働けるかイメージすることができます。教室セミナー方式は、2時間程度あり、個別会社説明会に参加するより有意義だと感じました。食堂ブース方式は、少人数なので質問がしやすかったです。

私は、東京、大阪、鳥取、福岡などで選考や面接があったので、お金も時間もかかってしまったのが一番大変でした。

### 就職活動中の学生へメッセージ

就職活動は体力が大事です。忙しい時も効率よく時間を節約して、睡眠時間を確保して体力を回復して下さい。また、新聞を読むのはとても大切で、記事の内容を覚えておくと直接で役立ちます。普段から少しでも記事に興味を持つようにすると良いと思います。



吉田 大倫  
Yoshida Hiromichi

理学部数理学科4年  
内定先／MUS情報システム株式会社

## 先輩・友人のアドバイスをもらって活動

就職活動は、1年生の12月に自己分析から始め、1月にはエントリーシートのベースを完成させました。最初は地元の熊本を中心に就職活動をしていたので、3～4月に説明会が集中した時期は週1回程度地元に帰っていました。4～5月は選考や面接のピークでしたが、なかなか決まらなかったのでエリアを全国に広げました。6月末に学校推薦を受け付けている会社を探してエントリーしたところ、ようやく7月に内定をもらうことができました。周りの友人は、5月に内定が出た人が多かったので、私はなかなか決まらず精神的に辛かったです。

私は、周りの人に協力してもらいつつ就職活動をしました。先輩にエントリーシートを添削してもらったり、情報を聞いたりしました。友人とは、エ

ントリーシートと一緒に見て指摘し合ったり、面接の練習をしたり、情報交換も頻繁にしていました。選考が進んで結果が見えなくなるとお互い励まし合うことができたので、友人の存在は大きかったです。

### 就職活動中の学生へメッセージ

まずエントリーシートが通過しないと次に進めないので、きちんとしたものを完成させることが大切です。読みやすいレイアウトを意識して、見る側の視点に立って書いて下さい。面接は、緊張して上手く話せなくなるので、事前に話すことを覚えておくくらいが良いと思います。なかなか就職先が決まらないことがあるかもしれません、妥協しないで、自分のやりたいことは何かを考えてみて下さい。



岸森 智佳  
Kishimori Chika

大学院理工学研究科(工)2年  
内定先／太平洋セメント株式会社

# 山口大学キャラクター「ヤマミィ」誕生!

## ■ 「ヤマミィ」とは

学生や教職員が一体となって前進すること、地域に開かれた大学を目指して社会との連携を強めることを目的として、大学のキャラクター「ヤマミィ」を策定しました。

山口大学のシンボルマークの形状をイメージする顔に、「自由さ」「好奇心」「柔軟性」を持つ、猫をモチーフにすることで、大学関係者だけでなく県内外の方に広く愛され、大学のイメージアップにつながるキャラクターを目指します。

今後、「ヤマミィ」は各種行事への参加や山口大学のPR活動に活躍する予定です。



## ■ ネーミングの意味

Yamaguchi Universityの「Yama(ヤマ)」と、猫の鳴き声のを意味する「Mew」から「私」を意味する「Me(ミィ)」を取り、二つの言葉を組み合わせて「ヤマミィ」と名付けられました。Me(ミィ)には、山口大学でそれぞれの「私(=アイデンティティ)」を発見してほしいという意味も込められています。



## ■ ヤマミィグッズも登場

「ヤマミィ」のグッズも続々と制作していきます。現在、クリアファイルとシールがあり、1月下旬にはぬいぐるみとストラップも完成。いずれも非売品で、行事やPR活動の際に配布されます。



クリアファイル



シール

## ■ 「ヤマミィ」活動記録

平成24年11月22日(木)

### 「ヤマミィ」お披露目会

11月22日、吉田キャンパス共通教育棟広場で「ヤマミィ」お披露目会を開催。多くの学生・教職員を前に初めて「ヤマミィ」が登場しました。丸本学長との初対面の後、記念撮影や握手会も行われ、順番待ちの列もできるほどの人気でした。



平成24年12月5日(水)

### 山口大学創基200周年記念 第2回基幹シンポジウム

12月5日、山口大学の未来について語るシンポジウムを開催。学生から活発な意見・要望・質問が出されました。その後、ヤマミィグッズが当たる抽選会が行われ、非売品のグッズを狙って会場は大いに盛り上がりました。



平成24年12月13日(木)

### 附属山口小学校・附属幼稚園に登場

12月13日、附属山口小学校の持久走大会に「ヤマミィ」が登場し、スタート前の子どもたちとふれあったり、記念撮影をしたり交流を深めました。統いて、附属幼稚園にも現れ、園児から歌をプレゼントされ、一人ひとりに握手をし、笑顔いっぱいの一 dniaroniました。



山口大学のキャラクター「ヤマミィ」が平成 24 年 11 月に誕生しました。愛らしい猫をモチーフとした「ヤマミィ」は、学内外の行事に参加し、すでに多くの方の人気者になっています。今後、さらに山口大学の PR 活動などに参加していきます。



## ■ 「ヤマミィ」の特徴



シンボルマーク型の輪郭  
とカラーは、山口大学の  
キャラクターであること  
の目印です。

かわいらしさの中にも灑々しさのある  
表情。何事にも熱意を持ち、正々堂々と  
取り組む姿勢を表しています。

連なる山々をイメージした耳。  
表情豊かな「ヤマミィ」は、感情  
が耳にまで表れます。

山口県のシンボル。  
夏みかん色の丸いほっぺた。

若さと活気を連想させる  
オレンジのバンダナ。



様々な分野での「発見」に  
つながる万能虫めがね。  
いつも持ち歩いています。



歩くと、シンボルマーク  
型の足跡が残ります。  
山口大学が歴史を刻み  
ながら前進(=発展)する  
ことを意味しています。



まっすぐに未来を見つめる  
大きな瞳

自分の進むべき道をすばやく  
察知するひげ。

Y 鼻の形は、山口(Yamaguchi)の  
頭文字である「Y」の形。

可能性を秘めた双葉のしっぽ。  
経験を積み、学ぶことで成長し、  
目的を達成して喜びを感じると  
花が咲きます。



おへそは「×(バツ)」では  
なく、ポジティブさを表す  
「+(プラス)」型。

## ■ プロフィール

生まれた所	やまぐち
誕 生 日	平成 24 年 (2012 年) 11 月 12 日
性 別	???
住んでいる所	山口大学のキャンパス（吉田・小串・常盤）や附属学校、附属幼稚園で自由気ままに暮らしている。
性 格	素直で前向きな性格。好奇心旺盛で、一度気になったことは放っておけないタイプ
趣 味	虫めがねでいろいろなものを観察し、「発見」すること
特 技	人なつっこく、誰ともでも友達になれること。
自慢できること	溢れるバイタリティとフットワークの軽さ。
好きな食べ物	夏みかん（食べ過ぎてはほっぺたが夏みかん色になってしまったのかも？！）
気になること	バンダナがオシャレに結べているかどうか。山口大学のファッションリーダーのポジションを密かに狙っています(◦◡◦)
やってみたいこと	山口大学や地域のみんなと仲良くなること

# 流通を仕事にするということ

センパイたちはどんな仕事に就いているの？

どんなふうに働いているの？

そこで、「考える就職活動」平成24年度第5回目は、山口大学を卒業後、株式会社イズミに入社し、売場での現場経験を経て、

現在はスーパーバイザーとして活躍する菊池晶さんに大型スーパー・マーケットでの仕事内容や現在の仕事に就いたきっかけについてお話を伺いました。

Q1.どのような仕事をしているのか教えて下さい。

A. スーパーバイザーとして、山口県内7店舗のディリーフーズ部門を担当しています。仕事内容は、会社の方針に沿った売場を実現していくことで、本社と店舗との橋渡しのような役割が大きいですね。具体的には、売場從業員の意見を吸い上げて一緒に問題解決に取り組んだり、その土地に合った商品を仕入れるように本社に手配したり、実際に売場に出て商品の陳列をすることもあります。お客様に喜んでいただける売場にするために「ここをこう変えていきましょう」といった現場とのやりとりが多いです。

Q2.やりがいを感じるのはどんな時ですか。

A. アクションを起こして、その結果が数字に表れた時です。例えば、ある商品の売り上げが伸び悩んでいる場合、売場從業員と数字を分析したり、トレンドを研究したりして、売場を変えていきます。その結果、売り上げが伸びたら、私だけでなく売場從業員も一緒に喜んでくれます。そういう時にやりがいを感じますね。

Q3.なぜ今仕事を選んだのですか。

A. 私が就職する頃は、大型ショッピングセンターが進出してきた頃で活況の業界だったということもあります、人々、人が集まる



## 就職関連情報

■「学内業界・企業研究会」年明けから開催中！

企業の経営者・人事担当者、本校卒業生など現在会場等で活躍されている方々をお招きし、学生の皆さんが幅広く業界・企業を研究し、就職活動や自身のキャリア形成に役立てもらう「学内業界・企業研究会」。今年は1月9日(水)から吉田キャンパスにて開催しています(常盤キャンパスは1月11日(金)より)、奮ってご参加ください。

また、ブース方式による複数企業合同の研究会の開催日程は、以下のとおりです(吉田・常盤キャンパス間の無料送迎バスあり)。こちらもあわせてご参加ください。

■日 時：平成25年1月26日(土)12:30～17:00

平成25年2月9日(土)12:30～17:00

■場 所：いずれも工学部食堂



菊池 晶 Kikuchi Akira

山口県宇部市出身。山口大学経済学部国際経済学科を卒業。1995年に株式会社イズミに入社。山口や九州の店舗での現場経験を経て、2年前からスーパーバイザーとして勤務。

ところで働きたいと思っていたので、人がたくさん訪れるショッピングセンターに魅力を感じました。大学でも大学祭実行委員会にずっと携わっていたくらい、人が集まることが好きでしたね。

Q4.就職活動はどのように行ったのですか。

A. 今のようにインターネットを使った情報収集はなかったので、就職関係の資料や企業の資料にしっかりと目を通してました。受ける企業の状況よりも、これからどんな方針で展開していくのかという部分に重点を置きました。いくつか内定をもらった中で、現在の会社が一番将来への広がりを感じたので入社を決めました。

Q5.在学生へメッセージをお願いします。

A. 就職難だと言われていますが、そんな状況の中でも自分が好きなことに関係する仕事を見つけてほしいですね。興味がないのに無理して入社しても、すぐに辞めなくなるのではないかでしょうか。向き不向きよりも、その仕事に興味を持ち続けられるかが大切だと思います。学生のうちに自分がどんなことに興味があるか見つけて下さい。

■ 山口大学就職支援室では、就職支援のためのイベント（面接練習会、グループディスカッション練習会等）を随時開催しています。イベント情報については、以下のホームページが、各学部等の掲示物及び山口大学就職支援カウンターにて各自でご確認ください。

山口大学就職支援室ホームページ：<http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~job/>  
また、就職相談も吉田キャンパスでは毎日、常盤キャンパスでは水・木・金曜日を行っていますので、就職・進路に関する相談がある方はお申し込みください(先着順・土日祝日は休み)。

<申込先>

■吉田キャンパス：山口大学就職支援室

■常盤キャンパス：工学部学生係

"Yamaguchi University Public Relations Student Staff" 瞠して YU-PRSS(ユープラス)。  
「山大生のあなた(YOU)にも、そうではないあなた(YOU)にも"プラス"になる情報を届けたい」との  
想いを込めて名付けられました。現在 13人のメンバーにて、山口大学の広報活動を行っています。

## NEWS&amp;TOPICS

私たち学生スタッフが、山大の最新の話題やニュースをお届けします！

## 01 &lt;『創基200周年』情報&gt;

## 第2回創基200周年記念基幹シンポジウムを開催！

平成24年12月5日(水)、「山口大学創基200周年記念第2回基幹シンポジウム」を開催しました。

吉田地区共通教育棟1番教室をメイン会場とし、遠隔講義システムで小串地区・常盤地区を結び、約170人(3地区合計)が参加しました。またインターネット動画配信サービスを利用したライブ中継には200人を超えるアクセスがありました。

基幹シンポジウムの第2回目に開催された今回の「山口大学の未来について語ろう！」をテーマとして、学生に2015年に本学の創基200周年を迎えることを知つてもらい、学生たちから見えて、現在そして未来の山口大学について語ってもらうことを趣旨とし、企画・運営も学生スタッフが主体となって行いました。

また本学教育貢献出身者であるY山口大学アナウンサーの新井道子さんをお招きし、当日の司会進行をご担当いただきました。

シンポジウムでは、学生スタッフにより本学の沿革、歴史および学生など本学の現在の状況の説明がされた後、「今」の山口大学について、「未来」の山口大学についてをテーマに活発な意見交換されました。各地区で参加している学生から、現在の山口大学の状況や授業や各種制度に対する意見や座談会など意見が提出され、丸本学長はじめとして、理事や教授が答えるなどといった直接的な双方向のやり取りが行われ、本学の役員、教員および職員にとって、学生たちの意見を聞くことができる貴重な機会となりました。

その後、先日お披露目された本学キャラクター「ヤマミイ」のグッズが当たる抽選会も行われ、参加者たちは、非売品の貴重なヤマミイグッズを狙って大いに盛り上がりました。

シンポジウムは、創基200周年を祝するにあつて、それまでさるその100年先の山口大学を見据いていく上で、教職員と学生がともに身になっていく必要があると改めて認識させられる内容の良いシンポジウムとなりました。

## 02

## 顕彰理事が自伝的历史論集を出版

顕彰理事・副学長(教育学生担当)がこのたび著書を出版されました。著書名は『領土問題と歴史認識なぜ日本中韓は手をつけないのか』(スクール都市出版)2012年12月刊と題するホットなタイトルで、日本と中国・韓国との歴史で生きている問題を解説の糸口を探るため、問題の深層にある歴史認識の在り方を論じています。

領土問題をめぐる中国や韓国で反応が遅がってしまう背景に、日本および大学が過去の歴史に正面から向き合おうとせず、過去に目を閉じる姿勢を改めないとこれまでの両者にちがちがあることを指摘しています。歴史事実から教訓を引き出し、歴史に学ぶ姿勢を結果を出すことが、アジア近隣諸國からの信頼を得るかども、



## 03

## 山口地学会が『山口県地質図 第3版および同地質説明書』を出版

山口地学会から『山口県地質図 第3版(15万分の1)』および地質説明書が出版されました。これは、平成27年に出版された『新編山口県地質図(15万分の1)』が17年ぶりに大幅改訂されたものです。原版は『山口県地質図』(昭和63年出版)に遡りますので、「15万分の1黒版」としての3版目になります。

今回の大幅改訂にあたっては、平成21年末から講義が始まり、その翌年末の山口地学会総会で改訂版が提唱され、平成23年早々に4名からなる編集委員会が組織され、具体的な改訂案にまとまりました。その後、半年の改作業の末、講義の開始からは3年目にさしてようやく出版に至りました。編集委員会は西村井二郎本部名誉教授が務められ、大学理工学研究科今岡照喜教授と金折裕司教授(いずれも地球科学分野)および龜谷浩さん(山口県立博物館)が編集委員として活動に携わりました。

改訂に先立ちて平成21年に「地質年代の訂正」が行われ、特に新生代の区分が大きくなり、これまでに遡れ親しんできた「第三紀」という名称が抹消され、新生代の古第三紀、新第三紀および第四紀の3区分となり、さらに第四紀の始期が16万(または18万)年前から260万年前へと改めました。「さらに、その年の9月には日本地質学会から地方地質誌『中国地方』が出版されました。この編集委員会も西村井名譽教授が顧問委員長として、今岡教授と金折教授も編集委員として参画しています。本地質図と説明書は、これらの新情報はももちろんのこと、さらにはその後えられた新データも反映されています。

旧版『山口県地質図』には地質明書がつけられていました。その理由としては、「山口県の地質(高橋はる、1975: 山口県の岩石、西村・蛭田、1991: 第一学習社)」が出版されましたこと、これらが地質明書の役目をはたすと考えられたからです。このたびの大規模改訂にあたっては、各界から地質明書の出版が強く要望されました。このたびの大規模改訂が行われ、特に地質年代の訂正とともに、地質明書を作成することになりました。

本地質図および説明書が山口県に限られた技術研究や教育機関の教材などに好利利用されるだけでなく、地質開発・土木・建築事業、自然災害の予防・防災、特に活動断層でできる内部地震防災・ハザードマップの作成、環境対策などの計画・実施など、多くの方面で活用され、山口大学の研究、教育、および県内の行政、産業などの発展につながることを期待しています。

大学理工学研究科(地球科学分野)

今岡照喜 教授 083-933-5765  
金折裕司 教授 083-933-5753  
imazaki@yamaguchi-u.ac.jp  
kaneko@yamaguchi-u.ac.jp



【YU-PRSS(ユープラス)とは?】「キャンパスライフ」、「ワイルドフォーメーション」の制作に携わる山口大学広報学生スタッフです

## YU-PRSSメンバー

黒江 邦津子／佐々木 裕美／久保田 法度／入江 貴博／国本 寛／長岡 泰祐／溝口 明河／河島 あかね／前田 藤乃／吉岡 優一／石井 沙希／中島 真貴／城村 ひとみ／長岡 真大  
倉増 沙和／星野 駿太

## 追加メンバーコンテンツ

主な仕事は、山口大学のホームページ内にて毎週更新されている「キャンパスライフ」ページの作成と山口大学広報誌「ワイルドフォーメーション」の製作補助です。取材・撮影・記事執筆といった、企画・編集業務に興味のある方、一緒に活動してみませんか？詳しくは下記アドレスまでメールしてください。

E-MAIL : campus@yamaguchi-u.ac.jp キャンパスライフURL : [http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~campus/campus\\_life%20\\_web/](http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~campus/campus_life%20_web/)

## 感想、取材依頼などお気軽にメールしてください！

今号についての感想や、今後いろいろな特集はどうだろうといったアイデア、こんな人を取材して欲しいといったご要望を受け付けております。また、「私たちを取材して欲しい」といったサクルやグループも大歓迎です！たくさんのメールをお待ちしています。

「志」つなぎ 伝える  
二百年



～2015年に山口大学は創基200周年を迎えます!～

YU-INFORMATION  
2013 JANUARY No.111

山口大学広報誌